

式 辞

平成三十年代畿央大学卒業証書・学位記・修了証書授与式において、それぞれの証書を授与される卒業生、修了生の皆さん、誠におめでとうございます。

ご来賓の皆様のご臨席を賜り、学部長、学科長、事務局長をはじめとする教職員一同とともに、卒業証書・学位記・修了証書授与式を挙行し、皆さんの門出をお祝いできることは、畿央大学としても大きな喜びとするところであります。

さらに、この日を迎えるにあたり、これまで長きにわたり卒業生・修了生の皆さんを見守り、励まし、支援されてこられたご家族および関係者の皆様方にもお慶びとお祝いを申し上げます。

さて、卒業される皆さん、本学に入学されたころのことを思い出してください。学部に入學された皆さんは、長かった受験勉強を終え、将来への夢と大学への期待といくばくかの不安をもって入学されたことと思います。大学院ならびに専攻科に入學された皆さんも同様に、人生の次のステップへの夢と期待をもって入学されたことと思います。そのころに持つておられた将来への夢は、その実現に向けて具体的になり、今日はその道に歩み出す出発の日を迎えられました。

在学期間中に夢の実現への道筋をつけることができたのは、これまでの皆さんの努力と研鑽によることは勿論ですが、先生方のご指導と職員の方々のご支援、そして切磋琢磨した学友の皆さんがいて、初めて達成できたことであることを深く心に刻んでいただきたいと思います。

さて皆さんが踏み出される日本の社会は、人口急減・超高齢化が進行し多くの課題を抱えています。政治経済の情勢は世界的な規模で急激に変わりつつあります。情報通信技術の発展はその流れを加速させています。このような社会において卒業生の皆さんが活躍し社会に貢献できるためには、社会の変化に常に柔軟に対応し続けることが求められます。

それができるためには、畿央大学において学ばれた、それぞれの分野の専門知識と技術、そして身につけた幅広い教養を出発点として、さらに知識・技術・教養を、深め・広げ・成長させていく必要があると考えます。

知識や技術を「学ぶ」ということについて、意識しておいていただきたいことがあります。

一つ目は、知識・技術を系統的な体系として捉える視点を持っていただきたいということです。

専門分野の知識内容は、相互に関連しています。知識内容の関連が分かると、

その分野の専門知識を体系的に理解することができ、足りない部分やさらに追加していく先が見えてきます。他の人には、理解していることを説明できるようになります。次々と学ぶことが楽しくなります。知識・技術を体系的に把握できていることは、学習の基礎であり、出発点です。畿央大学で学んだことを体系的な視点から再度見直してください。

二つ目は、知識・技術を「学ぶ」姿勢について、「分かる」ということを重視していただきたいということです。

知識や技術は、人類の文化の歴史の中で先人たちが見出し、形にしてきたことです。知識・技術を学ぶ際に、なぜそうなのかと考え、理解し身につけることが必要です。それには、この知識や技術は、「何なのか」という疑問を常に持ち、深く考え続けることが重要です。

しかしながら、始めから疑問を持ち、批判的に捉えるのは、簡単ではありません。まずは、「素直に」受け入れ、それを試してみること、それがうまく行くことを確認すること、が大切です。その上で、なぜかと、考えることです。考え、本当の理由を見出してください。それが、自分自身で「分かる」ことにつながります。

こういうことだったのかと、分かることは楽しいことです。そして、次のさらなる疑問に繋がっていきます。この繰り返しにより、知識・技術の「深い理解」を得ることができます。

体系的な理解の追求と、疑問を持ち続ける学びの姿勢は、建学の精神の一つである「知をみがく」ことの具体的な実践であると考えます。

三つ目は、本学で学んだ知識・技術を大切にし、それらを基に、常に最新の知識と技術を身につけるように心がけてください。

授業や実習で用いたデジタル資料、とくに検索してインターネットから収集した情報は保存してください。インターネットから得た情報は、例えば五年後に皆さんが仕事をするうえで確認したいと思った時に、同じように検索して見つけることができるでしょうか。恐らくそうではないでしょう。

本学で学んだ専門知識と技術に関して、デジタル化されている資料や学習記録は整理してクラウドの個人領域や外部デバイスに保存し、大切な知的財産として活用してください。入学時に貸与したタブレット型ノートPCの無償譲渡を受けた方は、それに保存してください。

仕事の中でそれらが活用できるには、単に保存しておくだけでなく、常に新しい情報を追加し、知識・技術の財産を増やす必要があります。それらを「成長する個人の知的財産」として大切に育てていただくことを期待いたします。

以上述べた三つのこと、知識・技術の体系的把握、疑問を持つことによる「深い理解」、そして更新追加し続ける常に最新の知識と技術、これらを皆さんのお

一人おひとりが持たれることにより、将来にわたり社会の変化に柔軟に対応し社会に貢献し続けられることを、期待いたします。

本学で学ばれ卒業される皆さんが、社会においても学び続け、人間としてさらに成長されることを心から期待しております。

そして、自分自身の行いを、人生のあり方を振り返る際には、建学の精神「徳をのばす」、「知をみがく」、「美をつくる」に立ち帰ってください。徳をのばせているか、知をみがき続けているか、美をつくれているかと、ご自身の人生のあり方を見直していただければ、建学の精神が皆さんの成長を図る良い物差しになると期待いたします。

これから皆さんが進む道は大きく分かれていきます。しかしその道は将来交差することもあり一緒になることもあろうかと思えます。これからも、畿央大学で育んだ人と人とのつながりを大切な絆として歩んでください。

畿央大学が社会から評価されるのは、畿央大学が社会に送り出した皆さんの、社会における活躍、社会への貢献によつてです。

皆さんが畿央大学の卒業生として誇りを持って活躍し貢献されることを重ねて期待するとともに、皆さんの母校となる畿央大学は皆さんの活動を生涯にわたり応援いたします。

本日は誠にめでとうございました。

平成三十一年三月十五日

畿央大学 学長 冬木正彦